



ゆるトーク

報告レポート



令和8年2月19日、「合同企業説明会」を模した若者と企業が気楽に出会えるプログラムとして「企業のゆるトーク」を行いました。当日は、5社の企業にご協力いただき、23名の若者が参加しました。

前半の企業説明会では企業の方々が大層に説明してくださり、メモを取り前のめりになって熱心に聴く若者の姿がありました。後半のトークセッションでは、仕事についてのみならず、続けるためのモチベーションの持ちかたなど「働く人の本音」が聞け、企業と若者にとって良い交流の場となりました。

企業アンケートより

- ・今の状態を変えたいと思いつながら、踏み出せない沢山の若い人たちがいることがわかりました。また、辛い思いをしたのだらうとも思いました。個々が得意とする活躍できる場があると思います。そこへの一步を踏み出す勇気を持つことができるようになるお手伝いできればと思いました。働く人が少なくなっている日本においては金の卵です。
- ・前向きな若者もいる一方で不安をたくさん感じている若者も多いと感じました。その中でいかに不安要素に向き合っていけるかが重要と考えています。
- ・失敗は、必ずあります。その後の対処が信用を生みますよ。それが、次のあなたに必ずプラスになって返ってきます。
- ・空白期間は、問題ありません。いま当社では、10年間引きこもりで40代の方がバイトからスタートしてます。
- ・皆さんの力を必要としている企業はたくさんあります。良い出会いがありますように。
- ・どんな立場になっても、困ったり悩んだりしたときには、周りが助けてくれます。(今日も若い事務局の方にこっそりSOSを出して助けてもらいました)。仕事は失敗をしながら、迷惑をかけながら覚えていくものです。失敗を恐れずに、次に活かせばOKです。
- ・ひとりで考えこまず、小さなことでも周りに相談する勇気をもとう！
- ・新しい環境への不安や自分が通用するかどうかの不安、たくさんの不安要素があると思いますが、今回参加した弊社を含む各企業様、どこに入ってもその不安が杞憂に終わり、楽しく働けると感じています。難しいかもしれませんが、勇気をもって第一歩を踏み出してください。



企業説明会 各企業ごと10分程度で説明をしていただき、簡単な質疑応答



ゆるトークセッション
「聞きたいホンネ」をもとにトークタイム

若者の感想より

- ・厳しいイメージがある仕事もあったが、全ての参加企業の話が聞けたので普段意識のしない分野について知ることができた。
- ・資格が必要な職種でも会社が支援して取得を目指す方法があることが分かりました。
- ・全ての参加企業の話が聞けたので、普段意識のしない分野について知ることができたと思いました。
- ・失敗したら落ち込むと回答していた方が多く、どんな方でも感じることは同じと思い安心しました。不安が少し減りました。
- ・仕事ができることよりも仲間とのコミュニケーションを楽しんでほしいという話を聞いて安心できました。
- ・自分の知らなかったこと、偏見でしかなかったことが多くあってためになった。
- ・お話を聞いたり、質問をしたことでわかることが増えて前向きな気持ちになった。
- ・質問を思いついたけれど言えなかった。

■ご協力いただいた企業（5社：順不同）

株式会社環境システムサービス、ウィッツグループホールディングス株式会社
株式会社フジテクノ、株式会社ACE、シルバータウン大野台ケアセンター

